

## 開館記念式典 アトラクション

テープカットの後、まほろばへ初めてお客様に  
入場していただきました。そして、映像ホールで  
アトラクションが行われました

まず、平泉寺小学校の全校児童27名による  
合唱がありました。曲名は、「東尋坊」と  
「まほろばの里」で、まほろばオープンにあ  
わせて、平泉寺小学校の徳田尚之先生がつく  
られました。元気な歌声に会場から大きな拍  
手がおくられました。



平泉寺小学校のみなさん

次の篠笛演奏と朗読は、今年7月に立ちあ  
がった平泉寺の世界遺産登録をめざす応援市  
民団体「白山平泉寺サポーターズクラブ」の  
ご協力で行いました。篠笛演奏は、平成21  
年に福井県で行われた全国植樹祭で、天皇  
皇后両陛下のお手植えの際に、音楽を演奏され



篠笛演奏と朗読

た「楽衆玄達」の本禄和美さんです。本禄さ  
んの演奏の間に、式典やアトラクションで  
司会をしていただいた幅田みち恵さんに、  
司馬遼太郎さんが書かれた『街道をゆく  
越前の諸道』の平泉寺部分を朗読していただ  
きました。ご来場のみなさんは、幻想的  
な演奏と朗読に聞き入っておられました。



お茶会を開いていただいたみなさん

まほろばの外では、白山平泉寺サポーター  
ズクラブのみなさんによるお茶会、奥越山野草  
会による「秋の山野草展」も行われました。ま  
た、平泉寺白山神社では宝物館の公開と平泉隆  
房宮司による説明会、観光ボランティアガイド  
による史跡見学会もありました。



山野草展

国史跡平泉寺の整備情報誌

# 平泉寺かわら版

No.49 (2012年10月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成24年10月25日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電話:0779-88-8113(直通)

メール:shiseki@city.katsuyama.lg.jp



白山平泉寺歴史探遊館 まほろば  
ただ今オープンです！



あいさつをされる山岸市長

10月6日、国史跡白山平泉寺旧境内に史跡の総合案内施  
設「白山平泉寺歴史探遊館 まほろば」がオープンし、記念  
式典が行われました。来賓や市民約160人の方々にお集まり  
いただき、晴天の中、盛大に開館をお祝いいただきました。

「まほろば」という愛称は、「素晴らしい場所」「住みやす  
い場所」という日本の古くからの言葉です。山岸市長は、『将  
来「まほろば」と言えば「平泉寺」がイメージされるように、  
多くの方に愛され、利用される素晴らしい施設になってほし  
い』とあいさつされました。「まほろば」開館にご尽力いた  
だきました皆様に深く感謝しますとともに、今後とも一層の  
ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

# 白山文化フォーラム2012 が開かれました！

10月20日、白山平泉寺歴史探遊館まほろばオープンを記念した「白山文化フォーラム2012」が同館で開かれました。まず『新潮』元編集長前田速夫氏の講演があり、その後、福井県立こども歴史文化館館長笠松雅弘氏との対談がありました。

県内外から参加された約90人の方たちは、白山信仰のルーツについての話しに聴き入りました。今回は、その時の様子をお伝えしたいと思います。

## 講演「白山信仰の謎—その源流と変容—」

前田速夫氏は、昭和19年、疎開先であった勝山(父の郷里)でお生まれになり、戦後は東京で育ちました。東京大学を卒業後、新潮社に入社され、「五大文芸誌」のひとつとされる『新潮』の編集長を務められました。



在職中より、民俗学の視点から白山信仰について研究され、『白の民俗学へ 白山信仰の謎を追って』(河出書房新社)を執筆されました。

今回の講演では「白山信仰の謎—その源流と変容—」(白山講座：白山国立公園指定50周年記念事業)と題してお話しをいただきました。

まず、白山を開いた泰澄の父親は朝鮮半島からの渡来人である秦氏の一族であるとの言い伝えがあり、母親にも朝鮮半島との関係を連想される説話があると話されました。

また、朝鮮半島には白頭山をはじめ「白」がつく山が多いことや、「白山」が朝鮮語で「ペッサン」と発音されることから「別山」の名の起こりではないかという研究の紹介、白山信仰と被差別民との関連など、白山信仰の朝鮮半島からの影響についてのお話しがありました。

## 対談「白山信仰はどこから伝わったのか」

講演を受けて、笠松雅弘氏との対談がありました。笠松氏は、対談の材料として、「白山の名称」「韓神信仰と白山」「泰澄と十一面観音信仰」「九州の白山信仰との比較」「白の民俗学」

テーマは

「海をこえた白山信仰」

白山への祈りはどこから伝わったのか…

といった5つの視点をまとめられました。

特に、九州と北陸の白山信仰は、2つの異なるルートで朝鮮半島から渡来したことについて話しが盛り上がりました。

その他にも、福井県内の新羅とゆかりのある場所や立山信仰にもふれ、東アジアの山岳信仰やその開山伝承を整理していくことの重要性をお話しされました。

最後に笠松氏は、「せまい範囲ではなく、海をこえて視点をひろげていくと、これまで見えなかったものが見えてくる」と、今後の白山信仰研究の方向性について、わかりやすくまとめられました。



白熱する前田速夫氏と笠松雅弘氏の対談



朝鮮半島の「白山」についてまとめられる前田速夫氏



白山信仰をわかりやすくまとめられた笠松雅弘氏

## 前田先生と歩く史跡見学会

白山文化フォーラムの午前中は、史跡見学会が行われ、約30名の方が参加されました。平泉寺の歴史の話を聞きながら、現在整備工事を行っている発掘現場の見学をしました。



まほろば前に集合。いざ見学会へ出発！



整備工事中の発掘現場の見学。好天に恵まれました。